

Microsoft Excelで動作する

河川浄化シミュレーションシステム

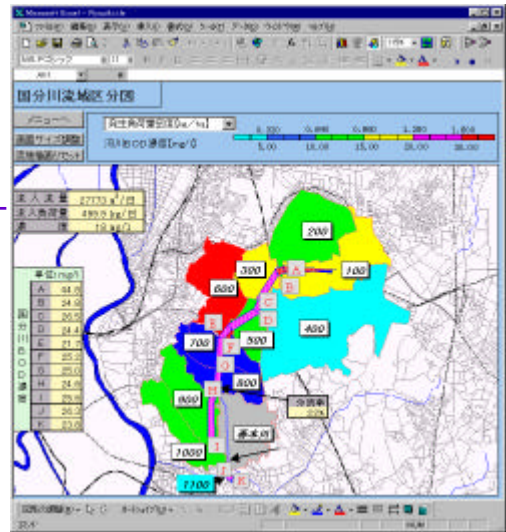
概要

「河川浄化シミュレーションシステム」は、河川流域の地域ごとに発生する汚濁負荷（BOD）を発生種別の原単位を基に積算します。また、汚濁の流出経路に沿って様々な浄化対策を施すことによる河川への流入負荷量変化をシミュレーションします。

河川本川については、下水処理場を設置する位置や処理方法のシミュレーションを行います。

そして、最後に河川のBOD濃度を算出します。

このシステムにより、適切な河川流域の浄化対策を選択することができます。



河川流域図表示画面

条件設定

シミュレーションを行うための条件項目には以下のものがあります。

【河川流域に対する対策】

啓蒙啓発による削減 / 合併浄化槽の普及 / 側溝内接触酸化施設の設置 / 道路下浄化施設の設置 / 下水道の普及

【河川本川に設置する下水処理施設の処理手法選択】

沈砂池 + ばっ気 / 沈砂池 + レキ間浄化 / 沈砂池 + ろ材槽 / 酸化池



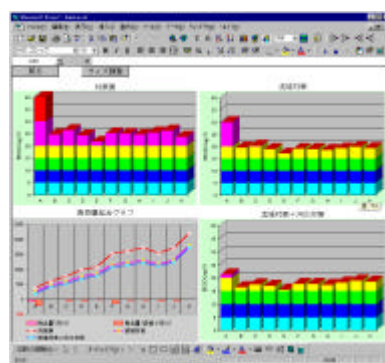
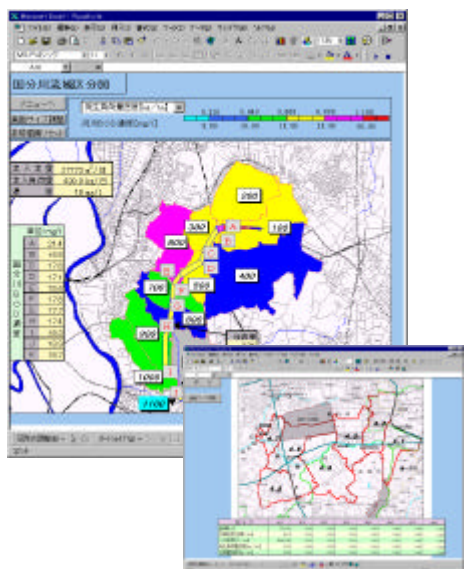
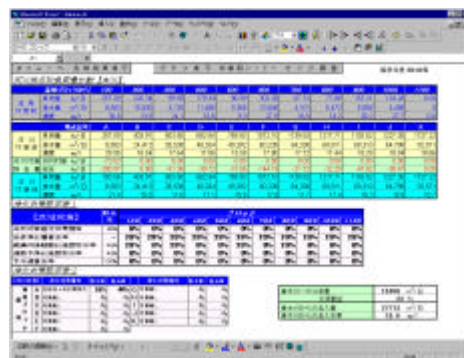
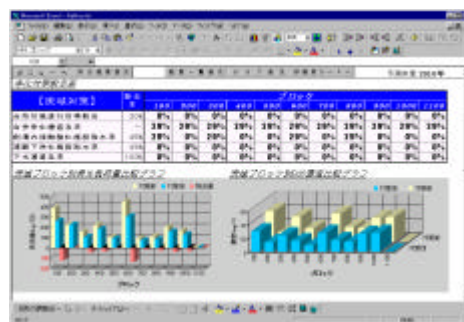
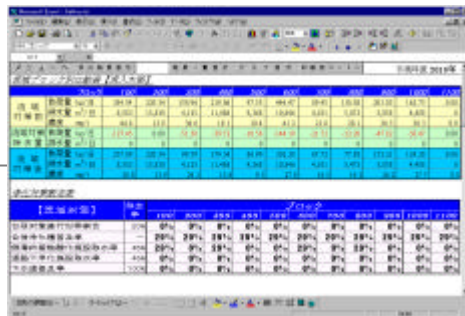
流域対策条件設定画面



河川本川条件設定画面

画面出力

シミュレーションの結果は、表として見やすくまとめます。また、グラフ表示することもできますので、視覚的に理解しやすくなります。



図のように汚濁負荷の大きな地域を色別に図示したり、現状と汚濁負荷除去対策実施後の効果を比較して表示することもできます。

動作環境

- プラットフォーム : AT互換機 またはNEC PC 98シリーズ
- CPU : Pentium 200MHz以上 (推奨)
- メモリ : 32MB以上のメモリ (推奨)
- 推奨ハードディスク空き容量 : 75MB以上の空き容量
- オペレーティングシステム : Windows95/98/NT4.0
- 必須アプリケーション : Microsoft Excel97

担当

電話

三井共同建設コンサルタント株式会社
〒169-0075東京都新宿区高田馬場 1-4-15
03-3205-5715